

第6回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善山梨県地方協議会(*)が開催されました

標記地方協議会が、堀内詔子(ほりうちのりこ)厚生労働大臣政務官の出席を得て、平成29年3月6日(月)に自動車総合会館で開催されました。

堀内政務官は会議冒頭のあいさつで、

働き方改革における長時間労働の是正をさらに強化するため、厚生労働省として「『過労死等ゼロ』緊急対策」を策定したこと

山梨経済の血液とも言える物流業界の永續のため、トラックドライバーの長時間勤務の改善が喫緊の課題であること

地方協議会で実施するパイロット事業はそのための鍵であり、事業で得られた課題、問題点及び改善策が、多くの輸送現場に広がっていくことを期待すること

などを述べました。

(*)長時間労働や荷主都合で発生する手待ち時間など、トラック運送業における問題解消を図るため、平成27年度から30年度にかけて、輸送実態の調査、パイロット事業(=問題の改善策の実証実験)及び長時間労働改善ガイドラインの策定等を行う荷主・トラック運送事業者・労使団体・関係行政機関をメンバーとする協議会



会議であいさつする堀内詔子厚生労働大臣政務官

また、本年度最後の開催となる地方協議会では、パイロット事業において、着荷先で荷下ろし時に発生する手待ち時間等の解消策の実験を行った結果、着荷先でトラックが留まる時間の合計が4時間以上短縮される効果が認められたことなどが報告され、さらに、本年度の事業実施結果を踏まえた今後の課題や次年度のパイロット事業の実施等について、活発な議論が行われました。

なお、パイロット事業は、全国で実施されており、今後、ハンドブックとしてまとめて関係者に配布し、好事例の水平展開を図ることとしております。